

Japan Evangelical Theological Society

日本福音主義神学会

J·E·T·S·NEWS Vol.32

発行所 / 270-1347 千葉県印西市内野3丁目301-5-1 東京基督神学校内
学会サイト・アクセス <http://evangelical-theology.jp>

「福音主義」神学の追及と発展をめざして

全国理事長 市川 康則

来年(2010年)は日本福音主義神学会創立40周年記念の年です。この間、本学会を守り導いてくださいました主なる御神に心から感謝いたしますと共に、今日までの先人諸賢のご奉仕に深く思いを致します。神学も、人間知識の有機体の一部分として、固有の学術的営みが許されると共に、人間学問が人間の生に仕えるべきであることに基づき、神学も教会の生と働きに仕えなければなりません。本学会は不十分なながらも、神学の学術的研鑽に取り組み、同時に教会奉仕を目指して参りました。

しかし、この40年間を振り返るとき、今後の課題とすべき事柄も示されました。本学会規約は立場を「聖書の十全靈感を信じる福音主義キリスト教」(第3条)と、目的を「神学研究を行い……教会の健全な成長と発展に奉仕すること」(第4条)と、それぞれ謳っています。しかしながら、例えば、聖書解釈における歴史的、批評的方法の使用、聖書の「無謬性」と「無誤性」の異同、聖霊に帰される不思議な現象、政治や文化に対する教会の姿勢等々を巡って議論が百出しました。創立に関わった人々の中には、脱会した人々もいます。また、神学の福音主義的研鑽と教会の健全な成長の因果関係は自明ではありません。「福音主義」の広さ・狭さの判断、信仰と学問の統合、学問と実践の両立などの難しさなどを痛感します。

今日改めて「福音主義」とは何か—より正確には「福音的であるとは何か」—が問われてい

ます。聖書に対する宗教的確信—聖書正典だけが靈感された、権威ある神の言葉で、信仰と生活の唯一の誤りなき規準—が同じでも、その聖書を実際にどう読むかは、福音主義陣営で一致している訳ではありません。聖書の字句文言をそのまま受け取り、記される事例を直接の範例とする読み方、文字の背後の“真意”を割り出そうとする読み方、最初の読者に対する直接的な意味に—反対に、自分たちへの応用的意義に—独占的関心を持つ読み方も可能です。

「福音主義」は福音を最重視し、これを固守、標榜する立場を意味します。しかし、「福音とは何か」は「どうすることが福音的なのか」に規定され、そして、この答えは自明ではありません。勿論、福音それ自身は客観的、不変的な神の言葉であり、決して人間の解釈や経験に還元され得ません。しかし、福音は、それについての私たちの福音的学習—キリストへの信仰による救いという、聖書自体の根本目的(論テモテ3:14)に従った読み方・学び方—を通してのみ、正にそれとして認識され、経験され得ます。福音主義とは完成した立場ではなく、聖霊の導きに信頼し、試行錯誤を恐れずに、聖書に生かされることを求めつつ、それを学ぶこと、換言すれば「キリスト告白主義」です。キリスト告白の姿勢の堅持だけが、神学の福音的、学問的研鑽と、その教会的実践への結合努力とのためのエネルギーを与えてくれます。

(神戸改革派神学校校長)

◆ 各地区部会報告 ◆

東部部会報告

1. 理事会の構成

- ◎役員理事 理事長：内田和彦
書記：関野祐二
会計：渡辺 聡
- ◎学会誌：木内伸嘉、藤本 満
- ◎部門理事 聖書学：三好明、大坂太郎
組織神学：岡村直樹
歴史神学：丸山悟司
実践神学：藤原導夫、福井 誠

2. 研究会・講演会

- ①春期研究会：2008年5月26日（月）
主題：「解決の糸口が見えてくる、対処がわかる
—困難な牧会への二人の提言—」
- 発題1 岡村直樹氏「質的研究方法と牧会」
発題2 藤掛 明氏
「非行心理臨床の実務から学んだこと
—これからのキリスト教界における
カウンセリングの可能性—」
- コーディネーター 福井誠氏
- ②秋期研究会：全国研究会議に合流
- ③部門活動：なし

3. 会員異動

- 〈入会〉川上直哉氏、笹岡靖氏、河野克也氏
〈転入会〉門谷院一氏（西部部会より）
スチュアート・ラウアー氏（西部部会より）
〈退会〉梅田興四男氏、八重樫和彦氏

中部部会報告

1. 理事会構成

- ◎役員理事 理事長：安村仁志
書記：関 昌宏
会計：佐々木保雄
- ◎学会誌：檀原久由、東 正明
- ◎中部部会会報：檀原久由、
◎理事：池上 泉

2. 研究会・講演会

- ①公開講演会 2008年5月12日
市川康則氏「教会の宣教としての礼拝
—特に説教の響きと広がりを目指して—」
- ②秋季研究発表会 2008年10月20日
田中 忍氏「エコ・チャーチについて」
- ③中部部会会報 第9号
安村仁志氏「巻頭言」
市川康則氏「宣教・礼拝・説教
—福音宣教に仕える教会として—」
田中 忍氏「キリスト教会と環境問題
—エコチャーチの働き—」
佐々木保雄氏「心に刻む歴史」
松浦 剛氏「揭示板伝道から学んだこと」
檀原久由氏「告白—私が牧師を続けられるわけ—」

3. 会員異動

- 〈入会〉白井 仁氏
田中 忍氏
〈退会〉小林 茂氏

西部部会報告

1. 理事会構成

- ◎役員理事：理事長：市川康則
書記：正木牧人
会計：鷹取裕成
- ◎学会誌：市川康則、安黒 務
- ◎理事：大田裕作、金井由嗣、工藤弘雄、瀧 浦滋、
津村春英、橋本昭夫、福田充男、真鍋 孝

2. 研究会・講演会

- 2008年春の研究会 4月21日（月）（関西聖書神学校）
主題：「福音主義における伝道の神学」
2008年秋の研究会 11月25日（火）～27日（木）
全国研究会議に参加
主題：「現代日本における伝道の神学」

3. 会員異動

- 〈入会〉徳永大氏、上田崇敦氏、岡本雅幸氏、池田憲
廣氏、武藤隆二氏、大澤恵太氏、沼 慎二氏、
奥田昭氏、崔 有美氏、加藤郁生氏、杉 貴
生氏
〈退会〉並村由紀氏、久保田周氏
〈転会〉ラウワ・スチュアート氏（東部へ）

学会誌報告

①学会誌委員

- 東部：木内伸嘉、藤本 満（会計）
中部：檀原久由（書記）、東 正明
西部：市川康則（編集長）、安黒 務

②39号発行

特集テーマ「病氣と癒し」2008年12月発行

③40号は、2008年全国研究会議特集号とする

全国理事会議事録

【日時】2009年6月15日（月）午後2:00-5:00

【場所】名古屋国鉄会館会議室7階ひかり

【出席】東 部：内田和彦、渡辺 聡
中 部：佐々木保雄、関 昌宏
西 部：市川康則（理事長）、鷹取裕成（会計）、
正木牧人（書記）学会誌：（市川康則）
欠席者なし

■閉会の御言葉と祈祷：市川理事長

Iコリント9:19～23

■報告：

1. 全国理事会（正木）配布「2008年度全国理事会議事録08/06/02」
・前回理事会で承認済み。議事録を確認した。
2. 各部会報告 承認
・西部：（正木）09/04/20総会報告より説明。九州ブロック再開に際し、東部/中部の九州在住者を西部に転会を御願いたい。
・中部：（関）09/05/18総会議事録により説明。
・東部：（内田）08/06/06総会資料より説明。
3. 学会誌（市川）
・39号発行「病いと癒し」、40号・昨年の全国研究会議特集号とする。
4. 会計（鷹取）
・別紙「日本福音主義神学会全国会計2008年度決算

報告」に基づいて報告承認

5. JETS ニュース (佐々木) 31号を発行した。
6. 全国研究会議報告 (市川)
 - ・09/11/25～27に第12回日本福音主義神学会全国研究会議を神戸で開催した。(2001年開催予定の第10回会議が延期され2002年に開催されたが、誤って第11回と言われていたため、2005年が第11回、2008年が第12回となる)
 - ・クリスチャン新聞の2月15日号に市川会長が総括を書いた。

■審議：

1. 役員構成
 - ・全国理事長：市川康則 (残り1年)、全国書記：正本牧人、全国会計：鷹取裕成 留任
2. 学会誌
 - ・第40号2009年発行は上記の通り。
 - ・第41号2010年、本会は専門的研究よりも総合的研究の相互啓発の場として靈感論や正典論という土台と、現代日本へのレレバンスを探ることを焦点とし

てきたことをふまえる。

3. 全国会計予算 別紙のように2009年度予算承認
4. JETS ニュース
 - ・7月末までに原稿提出のこと。巻頭言：市川理事長。作成担当：佐々木
5. 次回の全国研究会議に向けて
 - ・テーマ等について意見を交換した。
 - ・2011年秋に東部の主催で行う。西部・中部から各一名を準備会に送る。全国研究会議準備相談会を6月7日10:00～13:00名古屋国鉄会館会議室7階ひかりで開催する。招集東部部会。
6. 全国会員名簿
 - ・鷹取氏担当。2010年春発行予定。各部会の資料を2009年末に集める。
7. 記録確認
8. 次回全国理事会予定
 - ・2010年6月7日(月) 14:00～17:00 名古屋国鉄会館会議室7階ひかり

■閉会祈り 関理事

日本福音主義神学会 全国研究会議報告

開催日：2008年11月25日(火)～27日(木)

場 所：神戸 YMCA

ホスト：日本福音主義神学会西部部会

全体のテーマ

「現代日本における伝道の神学」

講義Ⅰ 「伝えるメッセージ」

講師：内田和彦氏

応答：瀧浦 滋氏

講義Ⅱ 「多元主義社会における伝道」

講師：橋本 昭氏

応答：櫻井園郎氏

講義Ⅲ 「伝道の担い手」

講師：倉沢正則氏

応答：相馬伸郎氏

講義Ⅳ 「伝道の結実—教会建設—」

講義：河野勇一氏

応答：工藤弘雄氏

開会礼拝説教者 安村仁志氏

総括・閉会礼拝 市川康則氏

〈訂正のお詫びと知らせ〉

全国理事長 市川 康則

本学会は昨年11月25～27日、神戸 YMCA

で、多くの参加者を得て、第13回全国研究会議を開催し、日本伝道についてのよき学びをすることができました。改めて感謝する次第です。

しかし、実は昨年の研究会議は通算12回目の会議でした。かつて第10回研究会議が2001年に開催される予定でしたが、諸事情のため2002年に延期されました。ところが、この延期された会議が当時、誤って第11回と数えられました。そして、2005年の会議が第12回、昨年の会議が第13回と、誤ったまま順に数えられてしまいました。したがって、昨年の会議は第12回、2011年に開催予定の会議が第13回 となります。

しかしながら、誤った数え方をした(2002年、2005年、2008年開催の)会議の回数を、記録等の諸種の文書で今さら訂正するのは、大変困難なことです。次回から改めることにさせていただきます。混乱を生じさせ、大変申し訳ございません。会員諸賢にはどうぞご容赦くださいますよう、お願い申し上げます。この機会に一言、お詫び方々、お知らせいたします。

日本福音主義神学会 全国 会計
2008年度決算報告 および 2009年度予算

収入の部			
項 目	2008年度予算	2008年度決算	2009年度予算
東部分担金	450,000	450,000	150,000
中部分担金	70,000	70,000	70,000
西部分担金	390,000	390,000	400,000
学会誌売上	150,000	51,068	100,000
広告収入	150,000	200,000	150,000
献金	0	0	0
雑収入	0	2,500	0
前年度繰越	1,090,995	1,090,995	1,220,198
合 計	2,300,995	2,254,563	2,090,198

支出の部			
項 目	2008年度予算	2008年度決算	2009年度予算
学会誌出版費	900,000	900,000	900,000
全国理事会費	150,000	102,690	150,000
事務通信費	10,000	550	10,000
ニュース発行費	30,000	31,125	30,000
研究助成費	50,000	0	50,000
全国研究会議費	100,000	0	100,000
名簿作成費	100,000	0	100,000
雑費・予備費	960,995	0	750,198
	0		
次年度繰越	0	1,220,198	
合 計	2,300,995	2,254,563	2,090,198

総 計		現 在 額	
項 目	金 額	項 目	金 額
出版基金	1,208,421	郵便振替	2,426,609
次年度繰越	1,220,198	郵便振替(未通知)	0
		現 金	2,010
合 計	2,428,619	合 計	2,428,619

日本福音主義神学会ニュース
2009年9月1日発行

発 行 日本福音主義神学会
編 集 佐々木保雄
印 刷 (株)あるむ